

《授業における児童生徒の取組》

- ①音読、視写、聴写、指さし確認、辞書引き
- ②教科書や辞書の指定されたページを開くこと
- ③見開き2ページから指定された語句や資料を見つけること
- ④教科書や問題文への○付け、線引き、色分けなど
- ⑤定規、コンパス等文房具の使い方の習熟



《RSの視点を意識した教員の取組》

- ①教材研究での教科書の読み込み
- ②RSペンの活用
- ③授業づくりワークシートの活用



《校内研修の充実に向けた取組》

- ①研究授業、互見授業、模擬授業
- ②日課表への位置付け(朝の活動、RSタイム、RSノートの実践など)
- ③校内のRSTの分析・共通理解
- ④校内研修、伝達講習会等
- ⑤校内RSTだより、現職だより等の発行

(1) 各小中学校の取組 【教育課程への位置付け・実践・検討】

(今年度の取組の成果と課題から)

【成果】

- ①RS向上に関わる学習活動(視写、聴写、助詞、要約、RSノート等)を**日課表に位置付ける**ことで、**学校全体で足並みをそろえて**継続的に取り組むことができ、教師も児童・生徒も**見通しをもって**活動できた。
- ②継続的に取り組めることで、子どもの姿に変化が現れている。
(**集中力・正確性・書く速さ・量の向上、認知負荷の軽減**)

【課題】

- ①各学級、学年での裁量で実践を行っていることで、**取組状況に差**が生じたり、共通理解が不足したりすることがあった。
(実施前の全体確認やRSタイムの参観による実践方法の全体共有)
- ②RSタイム等のより**効果的な活用方法**(視写+6分野7項目の内容の精選、時間の確保)の検討をしていきたい。